



広げよう友好の輪

中国浙江省嘉興市と友好都市提携

一月十三日、富士市と中国浙江省嘉興市は富士文化センターで、友好都市提携の調印を行い、友好交流が正式にスタートしました。

交流のきっかけは、富士市と嘉興市が日中両国の紙の都であったため。昭和五十九年九月に、浙江省中日対友好協会の代表団が県を訪れた際に話題となつてからです。以後、長江の流れのように、ゆったりとおおらかな交流を続け、この日の調印となりました。

今回は、調印の内容や友好訪問団の交流の様子をお知らせします。

両市の発展を促進

一月十三日、富士文化センター大ホールに集まった約千人の市民の皆さんが見守る中で、渡辺彦太郎市長と周洪昌嘉興市長は、日本語と中国語で作成された友好都市提携の協定書に毛筆でサインをしかたい握手を交わしました。

協定書は、「平和友好」「平等互惠」「相互信頼」「長期安定」

△調印をすませ、握手を交わす両市長



△友好旗を交換

友好交流の足跡



十一日 保健婦人センター視察



十二日 斎藤県知事を表敬訪問

の四原則にのっとり、子々孫々まで友好的につき合うことや、両市間の産業・教育・文化・体育と人的往来などによって、両市の繁栄と発展を促進することを内容としています。

各種の交流を望む

嘉興市友好訪問団は、一月九日に来日し、中国大使館を表敬訪問したあと、十日から十六日まで富士市に滞在しました。

十日は、歓迎式などの後、市並びに市議会幹部との友好会議が市役所で行われました。

ここでは、友好提携に先立って具体的な交流分野について意見交換が行われ、次の希望が双方から出されました。

工業関係では、富士市で嘉興市産業展（見本市）の開催や嘉興市から産業、工業、製紙技術者視察団の派遣、富士市から技術者の派遣など。

農業関係では、優良品種の交流など。

教育・文化・スポーツ関係では、研修や競技、講演など。

人的往来関係では、富士市の各界、実業界の嘉興市訪問や青少年の相互訪問交流など。

以上の交流を具体化するため、毎年定期的に両市幹部による交流会議を開き、交流計画等を協議することにしました。

人的交流を中心に

なお、当面の交流としては次の事項を確認しました。

●富士市・嘉興市両市は、研修生・実習生の相互派遣など人的交流を促進する。

また、技術専門家や学者を派遣し、コンサルタント・講演・企業診断やそのほかの短期的交流を行う。

●両市中小企業間の交流を中心に経済技術交流を推進する。進んだ科学研究成果の交流や優良品種の交換を初め、企業の管理向上や技術革新を進め、企業間の経済技術の合併、合作及び補助貿易などの

料理で交流

いきなりかしら



高田真理子さん
(今泉1・学生・20歳)

嘉興市のことは、つい最近知りませんでした。私は短大で食物のことを勉強しているので、中国とついで、すぐ中華料理が思い浮かびます。将来、料理のことで交流できるチャンスが生まれなにかしらと思います。

また、青少年の交流は大切です。手始めにスポーツなどの交流を始めたいと思います。

友好の大きな花を

こうして、富士市と嘉興市の友好交流は正式に始まりました。友好提携までの約五年にわたる交流で、互いに土をよく耕し、今回、友好という名の種がまかれたといえます。

これからは、両市の皆さんの相互理解が、水となり肥料となって友好という大きな花や実をつけることになるでしょう。

日本国静岡県富士市 友好都市提携締結
中華人民共和国浙江省嘉興市

協 定 書

1. 日本国静岡県富士市と中華人民共和国浙江省嘉興市は、日中両国政府共同声明と日中平和友好条約の原則にのっとり友好都市提携を締結する。
2. 双方は、「平和友好」「平等互惠」「相互信頼」「長期安定」の四原則にのっとり両市間の友好交流を増進し、日中両国人民が子々孫々まで友好的につきあっていくよう努力します。
3. 双方は、友好都市提携の締結を新たな起点とし、両市間の工業、農業、科学技術、教育、文化、体育、医学と人的往来の分野において広範な交流と協力を展開し両市の繁栄と発展を促進します。
4. 本協定書は、日本語と中国語で作成し、どちらも同等の効力を持ち、調印の日から発効する。

1989年1月13日

日本国静岡県 中華人民共和国浙江省
富士市長 渡辺彦太郎 嘉興市長 周 洪 昌

▽渡辺市長と前田議長を表敬訪問



△富士市・嘉興市友好会議



十二日 地元経済界代表と友好会議



十三日 ジャンボエンチョー視察



十四日 公共施設見学



你好 謝謝

※1 ※2
(※1はこんにちは ※2はありがとうの意味)

友好はもう始まった

嘉興市友好訪問団の一行は、団長の周洪昌市長を初め総勢八人。十日から十六日までの滞在中、積極的に友好活動を行いました。訪問団一行の友好交流意欲は積極的で、公共施設の訪問のみならず、市内のスーパ―にも出かけるなど、幅広く交流しました。

◁元吉原中の英語の授業を視察



▽「3回回して…」と渡辺市長が臨時に先生役



▽ユニーの時計売場では豊富な商品にびっくり



◁生け花も体験

▽中華料理教室には、やはり親しみが



ちよつと一服

たばこの違い

友好訪問団の一行は、いずれも劣らぬヘビースモーカー。それもそのはず、中国ではたばこを勧めるのは、もてなしの一つとなっているぐらいですから。

さて、健康づくりのやかた保健婦人センターを訪れたときのこと。ふだんは禁煙のセンターですが、この日はやはりお客様への立場を尊重して禁煙マークを降ろしました。それゆえ、一行は見るとおもしろいように煙をくゆらせました。ところが、一服した後、ある婦人がこんな質問をしました。

「皆様方はよくたばこを吸われますが、中国では女性もよく吸いますか？」これには一同マ イッタという顔で顔を見合わせ 「女性はまだ吸いません」と 答えました。たばこ一つとっても生活の違いの出た場面でした。

十五日 成人式に来賓として参加



同日 友好提携記念植樹



同日 市民ふれあい交流

